

# 持続可能な社会、 持続可能な企業

昨今、「持続可能性」が世界的なキーワードになっています。地球環境を守るため、平和で豊かな国際社会を築くためにも、一人ひとりの自覚と行動が必要だとの認識が広がっています。

「サステナブル(持続可能な)社会」実現のために、私たち企業人は何をしなければならないでしょうか。京都議定書順守も重要な取り組みの一つです。産業部門でのCO<sub>2</sub>削減は進んでいるものの、家庭部門では2003年には1990年比で31%も増えてしまっており、その対策は待ったなしです。私たちは、「住まいを変えて、社会を変える」、そして「今できることを確実に」を合言葉に、省エネ・創エネの技術から、暮らし方の提案までを含んだ行動を始めました。

具体的には、2010年予測での居住時のCO<sub>2</sub>排出の20%削減を行動目標に設定します。住宅は建設から廃棄までのCO<sub>2</sub>排出負荷のうち、居住時が約7割を占めており、その20%削減のインパクトは大きいのです。

当社の新築住宅については既に2年前から、全戸建て住宅で次世代省エネルギー仕様を標準化しています。さらに太陽光発電システムの普及を加速し、高効率給湯器などの省エネ型設備機器を標準化しています。

新築住宅のレベルがいかに高くとも、2010年までに建て替えが進む予測数はわが国の戸建て全ストック約2,600万戸のうちの7%にすぎません。これでは追いつきませんから既築住宅への対応が極めて重要になります。これはお客様の理解抜きでは進みません。私たちの思いを伝え、お客様とともに成果を上げていきます。

自動車や家電の場合、省エネ型への転換は買い替えしか選択肢がありません。しかし当社の住宅は、断熱性能、快適性を向上させるリフォーム技術が確立していますから、省エネ性能を向上させることができます。

さらに大きな環境配慮として、これからは中古住宅を安易に壊さずに、省エネ性能、快適性を新築レベル



和田 勇氏

Isami Wada

積水ハウス社長

に高め、次の家族に引き継ぐことも大切です。中古住宅の価値を適正に評価し、売る方も、買う方も安心できる長寿命化を促す環境整備、法整備が急務です。

積水ハウスでは、サステナブル社会実現に貢献するための、「サステナブル宣言」を行いました。これは、環境問題へのアクションにとどまらず、企業のあり方も含めた考え方です。一時の無理な利益の追求によって、市場からの信頼を失った企業の話は連日のように報道されています。また、少子化問題を解決するためには、男女共同参画社会の実現も急務だと思います。「建設業は男社会」というような古い「常識」を変えていくことも私たち企業人の役割だと思います。

これからの時代の経営は、経済と環境、社会のバランスを常に意識しなければなりません。まさにCSR経営。当社はこれに独自の「住まい手価値」を加え、4つの価値にバランスよく配慮した経営を行うことを掲げました。長く市場から信頼され愛される企業、すなわちサステナブル企業となることをめざさなければなりません。

住宅は、国レベルの環境、福祉において、実はとても大きな役割を占めています。個々人の生活スタイルや暮らし方にまで影響を及ぼし得るからです。積水ハウスで暮らすことが、地球環境保護になり、豊かな暮らしが実現できる。お客様に、そう言っていただけのような住まいづくりを実現したいと思います。

談